

豚コレラ 龜山でも野生イノシシに経口ワクチン



2019年8月23日発行
第3号
発行者 日本共産党
亀山市議会議員
福沢みゆき

こんにちは。7月の参議院選挙では、暑い中街頭宣伝を聴きに来ていただきたり、お手を振つていただいたり、やれることはいかが声をかけていただいたり…。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。日本共産党は議席と、現有議席より1議席減らしました。しかし、得票数は448万票で得票率と共に前回選挙よりも以下になります。全国32の一人区の選挙区で野党共闘の議席が2議席から10議席になったこと、改憲勢力を3分の2以下に抑えなことは大きな成果です。

なつかなかかられていますが、国会での共闘の効果は2015年以来急速に進んでいます。原発ゼロなど共同で議案を提案したり、何度も合図にアリンクをしたりして共闘を孤立化させて共闘の絆を壊すうど必死の妨害があつたのだと思います。これからこそ、今回の選挙では日本共産党を発展させ、みんなさんの願いをこの亀山からもしっかりと繋がつていてることを実感できることだと思います。

立会人の大事な任務は、投票が公正に行われているかチェックすることです。できるだけ会場内を見て歩きました。作業されている方は蒸し暑い体育館の中、キビキビと動き回つておられました。不正など入り込む隙間はないなど感じました。

今回立会人をして感じたことは、記名をしなければならない投票方法には無理があるのではないか。特に比例は政党名と150人を超える候補者名とのスクランブル。投票・開票いずれのためにもつとシンプルにすべきではないでしょうか。

白票や他事記載など無効票が468票もあつたこと、投票率が51.64%しかなかつたことは残念です。年代別に見ると投票率が一番低いのは20歳代で36.18%。次が10歳代で32.94%、これが60歳代で66.76%であります。若い人の投票率が低いことについて教育や政治の責任は重大です。一番身近な市議会も考える必要があります。

はじめて開票立会となりました



夏といえば花火、盆踊り、水遊び…。三寺町のカラオケ大会も、夏の風物詩です。舞台設備が素晴らしいです。毎年のように開催されています。小さな子どもから高齢者まで参加する多世代型のイベントになります。まずは会の代表さんより『男はつらいよ』が披露されました。みんなが歌いながら一緒に歌いました。このカラオケ大会、平成元年から始められたイベントで、夏といえれば花火や盆踊りなどがあります。

①一時避難場所へ地震など急な災害発生直後に一時的に避難をし安否確認・情報収集などするイメージです。屋内に避難をするものではないので集会所などの他、空き地や公園もあります。

②指定避難所へ各地区の防災拠点となる公共施設、小中学校や市営の体育館を指定。1人あたり1m²とし、地区的対象人口数の1割以上を収容することとなっています。就寝する、あるいは荷物置き場の設置により収容人数が減ります。地域によって収容人数・率に差があります。

③その他の避難所へ指定避難所が使用できぬない時、補助的に開設する。コミュニティセンターへや保育園などが多い。

冒頭小学校区では、水害時、小学校へ橋を渡つて避難をするのはかえつて危険ではないのか、などの議論があります。この件については、市は、川の水位を把握した上で避難に危険のないタイミングで避難所を開設するとのことです。

また、状況に応じ各自主防災組織・自治会・まちづくり協議会などの判断で、一時避難場所やその他の避難所を開設する場合があります。(介護・障害などに対応する福祉避難所については市が高齢者施設など協定を結んでいます。)市は来年度新しいハザードマップを作成するため、今年度中に各地区地域へ聞き取り調査を行おうようです。住民が納得する使い勝手の良いマップになるといいます。次回は情報の伝達について考えてみたいと思います。

月に一度、おいしい食事をみんなで食べる『お食事会』



『こどもの給食よりもやま話』その3

月に一度、おいしい食事をみんなで食べる『お食事会』の文化を伝える』についてあるのです。児童センターでも同時に開催し、実行委員として出る限り参加しています。料金は大人もこどもも無料です。毎日の野菜料理を『美味しいね、どうやって作るの?』など会話ししながら食べるどんがふわふわと温かくなっています。また、昨年より『お味噌汁の出張教室』もはじめました。東小学校の5年生のこどもたちと一緒に、かつお節を削つたことのないこどもたちが大興奮で削つて、その香りと味の深さに驚く、その表情を見つけて嬉しくなります。

亀山みんなの食堂はひのめというカレー屋さんをお借りし、毎日第2日曜日のお食事会を中心活動しています。

2016年5月にオープンし、3年が過ぎました。はじめはわかつて『こども食堂』をイメージしてましたが、誰が集まつてもいい、ちゃんと繋がる場所でした。

最近では、児童センターでも同時に開催し、実行委員として出る限り参加しています。料金は大人もこどもも無料です。毎日の野菜料理を『美味しいね、どうやって作るの?』など会話ししながら食べるどんがふわふわと温かくなっています。また、昨年より『お味噌汁の出張教室』もはじめました。東小学校の5年生のこどもたちと一緒に、かつお節を削つたことのないこどもたちが大興奮で削つて、その香りと味の深さに驚く、その表情を見つけて嬉しくなります。

亀山みんなの食堂は実行委員の会費や赤い羽根募金の他は、食事やカバンなどご寄付で回っている活動です。この循環が拡がることを希望します。こどもが自転車で、高齢者がシルバーカーを押して気軽に来れるような食堂が亀山市に増えると嬉しいです。

『めぐみの四季会』

学校給食はただの昼食でなく教育です。給食ならではの食育として『お汁物の文化を伝える』ということがあるのでないでしょうか。

亀山みんなの食堂では、昆布、蟹、煮干し、椎茸などそれぞれの出汁を味わつてもうまい。最後には合わせてお味噌汁にします。彼らの舌はこれから先、給食に出た汁物を頂く時、なんのお出汁かな?と考えるでしょう。一緒に給食もいたくのですが、こどもたちがどれほど給食を心待ちにしているかが目の当たりにして感動します。小学校のような給食を中学生にもど心から願います。



連絡先：福沢みゆき
〒510-133龟山市下若町113-8
携帯：080-3636-9190
Email: pettanann@softbank.jp